

## 世界史を知ることが重要

### 日本学術会議会長の黒川氏が講演 「日本の課題」に指針

【津】伊勢新聞政経懇話会五月例会が二十日、津市大門の津都ホテルであり、日本学術会議会長の黒川清氏が「日本の課題」と題して講演。世界の歴史を振り返りながら、これからの日本の課題への取り組みについて示した。

黒川氏は世界に広まったイギリス帝国主義や第二次世界大戦、朝鮮戦争などの歴史を振り返り、「特にここ百年は猛烈に世の中が変化してきた。現在の日本の問題を考えるとき、歴史的背景を知ることが大事」と強調。「歴史を大きく見て、どうしてそうなったかを考えれば、おのずから日本のビジョンが分かる」と述べた。

北朝鮮問題についても触れ、現在の北朝鮮の一つ一つの対応にいきり立つより、いかに北の核を外させるかが重要とし「大人の戦略的対応を取るべき」と提案。アジア中心になりつつある中で、これからの日本は、いかにアジアの信頼を構築していくかが重要で、若い人の育成に力を注ぎ、「日本の応援国をつくっていくべき」と述べた。

そして、「私たちの子ども、孫の世代に、どういう日本を残したいのか、自分たちに何ができるのかを考えて、私たちの社会的責任を果たして」と呼び掛けた。

黒川氏は、昭和三十七年東京大学医学部卒業。東京大学名誉教授、内閣府総合科学技術会議議員などを務め、平成十五年から日本学術会議会長。